

1 音楽を学ぶねらい

- ・曲想と音楽の構造や背景との関わりや、音楽の多様性について理解できる力を養う。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱や器楽演奏・創作などの活動を通して表現できる力を育てる。
- ・音楽を形づくる要素や要素同士の関連を理解させ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、理解したことと感受したこととの関わりについて考えたり、どのように表すかについての思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、良さや美しさを味わえる力を育てる。
- ・歌唱や器楽の表現、鑑賞や創作の体験を通して、音楽や音楽文化に親しむことのできるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組ませる。
- ・音楽の基礎的な表現や知識を身につけることで、多様な音楽や音楽表現の背景としての人間の歴史や文化を考えたり、総合的に芸術の豊かさを自らの人生に生かせる力を育てる。

2 学習方法

- ・美しい発声のしくみを理解しながら、楽曲に適した音量と音色、表現方法で歌唱し、仲間と協力しながら合唱作りの活動に取り組む。
- ・楽器のしくみや特性を理解し、楽曲に適した音量と音色、表現方法で演奏する。
- ・基礎的な創作活動に取り組む。
- ・楽曲の背景・歴史と曲想の関わりを考えながら、主体的・協働的に音楽を鑑賞する。
- ・音楽を形づくる要素について理解し、楽曲との関連を考える。
- ・楽曲について曲想を感じ取り、根拠をもって評価・批評する。

3 持ち物、忘れものなどについて

- ・持ち物 … 教科書、器楽の教科書、合唱曲集、ファイル、楽器、音楽袋など
- ・教室、音楽室での自分の教材の管理や移動について、責任をもって取り組む。
- ・提出物は期限内に提出する。教材忘れは貸出を受けて授業に参加する。

4 学習の観点と評価方法

- ①「知識・技能」 音楽の構造や背景との関り及び音楽の多様性について理解している。
授業の取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート、実技テスト
定期考査
- ②「思考・判断・表現」 音楽を形づくる要素の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
授業の取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート、実技テスト
定期考査
- ③「主体的に学習に取り組む態度」 音楽や音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
授業の取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート

5 先生からのアドバイス

- ・授業規律を整える（チャイム着席、教材を揃える、授業に積極的に取り組む）
- ・恥ずかしい気持ちを克服して、自分なりの音楽表現の工夫に積極的に取り組む。
- ・実技のテストなどでは、精一杯、自分なりの音楽表現に挑戦する
- ・提出物は期限厳守。「定期テスト」は授業内容からの出題なので、授業内容を、その都度しっかりノートし、プリント等の資料をファイルに整理しておく。

6 音楽科3年 年間学習計画

| 期 | 月 | 単元名・学習内容 | 学習の目標 | 評価方法 |
|---|----|--|---|-------------------------|
| 1 | 4 | 日本歌曲のよさや美しさを理解して歌唱表現しよう 「花」「荒城の月」 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌曲の独特な抒情性を味わい、歌詞と旋律の関わりを感じながら曲想にふさわしい歌唱表現を工夫できる。日本語のアクセントや抑揚、リズム、語感の特性を大切にしながら創意工夫して歌唱表現できる。 ・日本や世界の音楽の歴史を理解し、それぞれの国や時代の音楽の特徴と社会の関わりや、自らの生活や社会における音楽や芸術の意味や役割について考えることができる。生活や社会における音楽の意義や、人間と芸術との歴史的な関わりについて考えながら、音楽を聴き味わうことができる。 | 授業観察 ワークシート |
| | 5 | 音楽の歴史（日本/世界） | | 授業観察 |
| | 6 | 日本や伝統的音楽や世界の音楽の歴史や背景、特徴を理解し、音楽や芸術の多様性と魅力を聴き味わおう。 | | ワークシート 定期考査 実技テスト |
| 2 | 9 | 全体の響きや各声部の役割を生かして歌唱表現を工夫しよう 「大地讃頌」 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と、音楽構造・歌詞内容・曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫することができる。 ・混声四部合唱の構造や旋律のかけ合い、ピアノ伴奏との調和などを理解して、仲間とともに主体的、協働的に歌唱表現を工夫する活動に取り組める。 ・美しい発声の工夫（呼吸法、発声法、言葉の発音、身体の使い方、全体や各パートの響きを聴きながら他者と合わせて歌うことなど）ができる。 ・曲想にふさわしい歌唱表現を、自分なりに考えや意図で表現することができる。 ・基本的奏法を学び、楽器の特質を生かしながら、器楽で演奏することができる。 | 授業観察 ワークシート 実技テスト |
| | 10 | 合唱の豊かな表現を楽しもう 合唱コンクール | | 定期考査 実技テスト |
| | 11 | 課題曲・自由曲 | | 授業観察 ワークシート |
| 3 | 1 | 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 卒業式歌 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かして、曲想にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、主体的協働的に合唱の学習に取り組むことができる。 | 授業観察 定期考査 実技テスト |
| | 2 | 「旅立ちの日に」 「心の中にきらめいて」 | | |
| | 3 | | | |